

まもること。つなぐこと。森林認証

栃木 森林認証協議会

<http://www.tochiginoki.org/>

林家の経営の自立を推進することが必要だ。また、説明責任を果たすことも重要である。そのためにも森林認証は必要です。
川上(山)の意見代表: 高見林業・斉藤氏

山(森林)と消費者を確実に結びつける役割を担っている。地元の木を活かしたい。そのためにも森林認証の枠組みは重要です。
川中(製材業)の意見

川中(製材業)の意見

森林経営の現状

世界に冠たる森林資源大国・日本の森林は量的には成熟期を迎えつつありますが、林業を取り巻く環境は厳しく、間伐などの手入れ不足の森林が多くなっています。森林の持つ諸機能を発揮させ健全な状態に保つには、林業の再生が欠かせません。日本の林業は「伐(き)ったら植える」の伝統を長々と守ってきましたが、近年は伐採後に植栽されない事例も増えてきました。森林認証制度では森林の健全性・持続性が保証されます。

山林経営者から木製品製造・建設業までの木材関連産業に係わる人たちが、業界の社会的責任を果たすための一つの手段として森林認証は重要です。森林認証協議会をきっかけとして、業界全体の健全な発展が期待されます。

学の意見代表: 宇都宮大学・内藤教授

トレーサビリティとは

食品偽装に代表されるように、昨今ものの流通過程の信頼性が問われています。その木材がどのような管理の森林から得られたものかを保証するには、厳正な流通管理が必要となります。森林認証制度ではCoC認証を受けた事業者が分別表示を徹底し、確実に消費者に認証材を届けます。

違法伐採とは

盗伐や法令を無視した違法伐採は森林の持続性を失わせて、森林の減少を引き起こしています。違法伐採による木材を使用することは結果的に森林破壊の一翼を担ってしまうこととなります。日本で使用される木材の約8割は海外から輸入されたものですが、その中には違法伐採による木材が多く含まれているといわれています。あなたの家の木材は大丈夫ですか？森林認証制度は適法な木材を確実に提供します。

森林認証とは

森は人類のふるさとであり、古来より森林の恩恵を受けて文明を発展させてきました。現代社会も木材の供給をはじめ、水土保全、生物多様性の保全など森の恵みを楽しみ続けています。この恵みを未来へ受け継いでいくためには森林を適切に管理し、それを持続させていくことが必要となります。

森林認証とは、

1) 持続可能な森林管理により、健全な森づくりを保証する。2) 保証された森から得られた丸太をラベルにより管理し、認定を受けた事業者が加工製造する。3) 加工製造された製品もラベルにより管理され、消費者に確実に保証付きの木材を提供する。4) 消費者は保証付きの製品を利用することにより、結果的に健全な森づくりをサポートする。
という仕組みです。この取り組みにより、荒廃した森林の再生、海外での違法伐採木材の締め出し、消費者への環境・品質の保証を実現します。

環境に対する倫理感を持つものを作りたい。消費者に対して自信を持って商品を提供したい。
川下(製品・建築)の意見

認証材による製品

認証材を全面的に使用した家づくり、認証材を使用した木工製品などが提供されています(裏面参照)。認証ラベル付きの製品を利用することで、あなたも森林認証の環(わ)の一員となりましょう。

栃木森林認証協議会

(有)八汐木工 事務所内 担当 片見(へんみ) 雅俊
〒329-2332 栃木県塩谷郡塩谷町大宮1996-1
Tel. 0287-46-0113 Fax. 0287-46-1227
E-mail : tochigi_ki@yahoo.co.jp





まもること。つなぐこと。森林認証

栃木

森林認証協議会

<http://www.tochiginoki.org/>

保証します。

7つの約束を木材にのせて確実に届けます。

約束1：適切な森林管理

山に負荷をかけず、適切な森林計画を設定し実行していきます。

約束2：生物多様性の保持

多様な生態系を保持して、森林の管理を行います。

約束3：水土保全機能の発揮

水資源のかん養、土砂の流出防備機能を高めた森林を育成します。

約束4：健全な森づくり

森林の生産力、機能が損なわれない、健全な森をつくっていきます。

約束5：持続的森林経営

循環し、永続的な森林を保つためにも、森林経営を持続させます。

約束6：地域文化の維持

山の暮らしを守ることで、森林の守り手を絶やすことなく維持します。

約束7：情報公開・トレーサビリティ

常に情報公開に努め、分別表示を徹底し確実に認証材を届けます。

森林認証制度の現状

森林認証制度は、森林管理を認定するFM認証と林産物の流通における分別表示を認証するCoC認証の2つシステムで成り立っています。この仕組みにより適正に管理された森林から得られた木材を確実に消費者にお届けすることができます。

世界的には、森林認証制度は様々な広がりを見せており、主なものとしてFSC、SGEC、PEFCなど、様々な機関が認証の仕組みを提供しています。

日本では、2000年以降普及が始まり、2008年6月現在FSCが24カ所、約28万ha、697事業体を、SGECが63カ所、約72万ha、241事業体を認証しています。

栃木県では、2005年に(有)高見林業が公的所有林以外では国内初のSGEC・FM認証を取得し、5つの事業体がSGEC・CoC認証を取得しています。

我々は、栃木県における森林認証のさらなる普及に取り組みます。

栃木森林認証協議会は産官学の枠を超えた多彩なメンバーで森林認証の普及に取り組んでいます。

メンバー

片見雅俊会長 ((有)八汐木工) ・ 西村公平副会長 ((有)西村木材店) ・ 斉藤正理事 ((有)高見林業) ・ 田村文宏理事 ((有)田村木材店) ・ 内藤健司理事 (宇都宮大学) ・ 松英恵吾理事 (宇都宮大学) ・ 山縣睦子 ・ 神山儀一 ・ 田崎響子 ((有)響屋) ・ 佐々木稔 ((有)佐々木設計計画) ・ 石川昭男 ((有)モード設計事務所) 金子裕美 ・ 日光二社一寺営林事務所

賛助会員

日光地区木材流通研究会 ・ 鹿沼地区林業振興会 ・ 鹿沼市林業振興会 ・ 栃木県林業振興会 ・ 栃木県森林組合連合会 ・ 栃木県木材業協同組合連合会 ・ 全国林業改良普及協会 ・ 日本森林技術協会

ひろがる認証材の利用



認証材による懸飾・花瓶置き

認証材による家づくり

認証材によるガーデンベンチ

認証材による家づくり

森林認証材

木材市場における認証材



認証柱材

栃木森林認証協議会

(有)八汐木工 事務所内 担当 片見(へんみ)雅俊
〒329-2332 栃木県塩谷郡塩谷町大宮1996-1
Tel. 0287-46-0113 Fax. 0287-46-1227
E-mail : tochigi_ki@yahoo.co.jp